



疫病退散
SHIMODA SPIRIT

市議会だより

■ 2月臨時会

2月8日

■ 3月定例会

3月3日～18日

■ 5月臨時会

5月12日～13日

発行・下田市議会 編集・議会だより編集委員会 〒415-8501 下田市東本郷1丁目5番18号 ☎0558(22)2220〈直通〉



稲梓小学校放課後児童クラブ開設



GIGAスクールスタート！（稲梓小学校）

※GIGAスクール：「児童1人1台情報端末」と「高速ネットワーク」を使った新しい学習

2月臨時会・3月定例会・5月臨時会の主な議題

- ◆ 下田市議会新体制スタート
- ◆ 新型コロナワクチン接種5月12日からスタート
- ◆ 令和3年度下田一般会計予算111億2,700万円で可決
- ◆ プレミアム付商品券、非課税世帯に配布（額面5,000円分）

議長 長に橋本智洋氏 副議長に進士濱美氏



議長
橋本智洋氏



副議長
進士濱美氏

新議長あいさつ

下田市は令和3年1月1日に市制施行50周年を迎えました。その記念すべき節目の年に、去る5月13日の臨時議会において第29代下田市議会議長を拝命いたしました。

コロナ禍で情勢が低迷し、様々な課題や事業を抱える中、議長という肩書ではなく、役割を全うしていく次第です。

現在の下田市議会は、平成31年の選挙で半数近くの議員が入れ替わった構成の中、先人の議員の方々が受け継いできた秩序とルールを守り、時には長幼の序をもって接し、慣例等の精査と合理性を求めています。そして開かれた議会を実現

するため「聴く、話す、動く、見せる、発信する」ことを実行していきます。

行政と議会は車の両輪と例えられるように、バランスを保つため、知識、経験による力量を身に付け、是々非々の姿勢で公正な議会を目指し、市民の皆様の意見を反映させてまいります。

人の繋がりを大切にし、全ては下田を、伊豆をより良くしていくために進士濱美副議長と共に下田市議会が一体となり、市民の皆様と共に様々な課題に素早く対応できるよう邁進してまいります。

市民の皆様におかれましては、引き続き議会に対し、御支援、御理解を賜りますよう、今後とも、どうぞよろしくお願い申し上げます。

議員名鑑



佐々木 清和
議席番号6・73歳
・1期・産業厚生副委員
長・下田地区消防組合



矢田部 邦夫
議席番号5・73歳
・1期・総務文教委員
・南豆衛生プラント組合



渡 邊 照 志
議席番号4・70歳
・1期・総務文教委員
・南豆衛生プラント組合



鈴 木 孝
議席番号3・58歳
・1期・総務文教副委員長
・南豆衛生プラント組合



中 村 敦
議席番号2・53歳
・1期・総務文教委員長
・一部事務組合下田メディ
カルセンター



江 田 邦 明
議席番号1・49歳
・1期・産業厚生委員長
・下田地区消防組合



沢 登 英 信
議席番号13・79歳
・5期・産業厚生委員
・一部事務組合下田メディ
カルセンター



大 川 敏 雄
議席番号12・80歳
・11期・総務文教委員
・南豆衛生プラント組合



進 士 為 雄
議席番号11・66歳
・2期・産業厚生委員
・伊豆斎場組合



橋 本 智 洋
議席番号10・54歳
・2期・産業厚生委員
・下田地区消防組合



進 士 濱 美
議席番号9・73歳
・2期・総務文教委員
・伊豆斎場組合



小 泉 孝 敬
議席番号8・70歳
・3期・産業厚生委員



滝 内 久 生
議席番号7・68歳
・2期・総務文教委員
・南豆衛生プラント組合

下田市議会機構図

議長 橋本智洋
副議長 進士濱美

総務文教委員会

委員長 中村 敦 副委員長 鈴木 孝
委員 渡邊 照志・矢田部邦夫・滝内久生・進士濱美・大川敏雄

産業厚生委員会

委員長 江田邦明 副委員長 佐々木清和
委員 小泉孝敬・橋本智洋・進士為雄・沢登英信

議会事務局

局長 永井達彦 庶務兼議事係長 中堀啓司
議事係 土屋諒平 庶務係 鴻野麻由 兼務運転士 土屋 巧

2月臨時会総括

下田市議会2月臨時会は令和3年2月8日の一日の会期で開催されました。

一般会計補正予算は歳入歳出それぞれ502万9千円を追加し、原案のとおり可決されました。これにより令和2年度一般会計歳入歳出予算総額は、それぞれ153億4239万3千円となりました。

補正予算の内容は、新型コロナウイルスワクチン接種の予約に対応するためのコールセンター等の経費が主なものです。

条例関係は、下田市課設置条例の一部を改正する条例を制定して、現状の統合政策課、総務課の2課を、企画課、総務課、財政課の3課にするものです。

2月臨時会

総務文教委員会

委員長 滝内久生
副委員長 渡邊照志
委員 鈴木孝 矢田部邦夫
進士濱美 大川敏雄
沢登英信

条例関係等

■議第1号 下田市課設置条例の一部を改正する条例の制定について

令和3年度からの第5次下田市総合計画を強力に推進し、持続可能で安定的な行政運営を図るため、下田市課設置条例を改正するものです。

市を取り巻く課題解決に向け、施策・事業を着実に迅速に推進する必要がある、より効果的な組織体制を再構築するためのものです。

市政の中核である統合政策課（政策推進係・人事係・秘書係・庁舎建設係）と総務課（行政管理係・財政係・法規情報係・検査係・「選挙管理委員会事務局」）の2課を企画課（政策推進係・企画調整係・秘書広報係・庁舎建設係）、総務課（総務係・人事係・情報推進係・「選挙管理委員会事務局」）、財務課（財政係・行政管理係・検査係）の3課に再編するものです。

令和2年度の人員配置は、統合政策課17人、総務課18人（選挙管理委員会事務局含む）を令和3年度は、企画課14人、

総務課14人、財務課10人として3人の増とするものです。

また規則等の改正により、観光交流課の観光企画系事務とイベントや施設管理系事務を区分し、効果的かつ迅速な観光施策を遂行するため、現行の観光戦略係を観光施設係・観光企画係の2係に再編、福祉事務所の社会福祉係内に、市における児童等に対する必要な支援を行うための体制として「子ども家庭総合支援拠点」が新設されました。

3月定例会総括

下田市議会3月定例会は令和3年3月3日から3月18日までの16日間の会期として開催されました。

一般会計補正予算は歳入歳出それぞれ1億1662万円を減額し、原案のとおり可決されました。これにより令和2年度一般会計歳入歳出予算総額はそれぞれ152億8514万9千円となりました。

令和3年度一般会計予算は歳入歳出それぞれ111億2700万円として、修正可決されました。

一般質問は6人の議員が質問しました。

条例議案8件、補正予算6件、新年度予算10件、専決1件、契約4件、その他1件、合わせて30件の提出議案の審議が行われました。

条例議案では「下田市介護保険条例の一部を改正する条例」が制定され、4月1日から施行されました。

下田市の高齢化率は40%を超え、その一方では少子化や生産年齢人口の減少が進んでいる中、新型コロナウイルス感染症の影響による日常生活へのさまざまな問題が生じてきています。市においては高齢者保健福祉計画を策定し、今後3年間の介護保険事業計画が策定されました。これを受けて高齢者施策を推進するため、財源となる介護保険料を改定することとなりました。

従来、基準額となる第5段階の被保険者では、月額5400円を1000円増額し、5500円とする条例が制定されました。市に対しては、これまで以上の介護予防への取り組み、地域包括ケアシステムの充実強化を要請しました。

た。

その他の条例議案、補正予算、新年度予算は総務文教委員会、産業厚生委員会にそれぞれ委員会付託され審議の結果、29件が可決、1件が修正可決となりました。

修正可決に関しては、令和3年度の一般会計予算の内、観光街づくり推進事業の下田市観光協会補助金（魅力的空間創設事業分）を削除し、予備費へ充当しました。

改めて当局は新型コロナウイルス感染症対策事業について再考頂くことが適切であると判断したためです。

3月定例会

総務文教委員会

条例関係等

■議第14号 下田市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について
新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い、今後の業務において、職員が各種感染症の患者又はその疑いのある者と接することが想定され、その

業務に従事する職員に対し特殊勤務手当を支給することができるよう条例を改正するものです。

■議第15号 下田市職員の特殊勤務手当に関する条例の制定について

職員の特種勤務手当の種類、支給を受ける者の範囲、手当の額及び支給方法を定めるものです。

今回の条例制定においては、人事院規則に基づき、感染症の患者と接する作業等の業務に従事する職員に支給する手当（防疫等作業手当）の額等を定めるものです。

■議第16号 下田市付属機関設置条例の一部を改正する条例の制定について

予防接種（新型コロナウイルスワクチン接種等）後の健康被害に関し調査審議する機関として「下田市予防接種健康被害調査委員会」を下田市の付属機関として加えるものです。

■議第17号 下田市特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について

新たに付属機関として設置する下田市予防接種健康被害調査委員会の委員報酬を日額2万円とするものです。

令和3年度下田市 一般会計予算

*企画課

◎政策推進事業

主なものは、ふるさと応援寄附をいただいた方に対する返礼品に係る費用1億1250万円、ふるさと応援寄附システム使用料の4000万円、市制50周年記念事業に係る費用の500万円です。

◎新庁舎等建設推進事業

415万3千円

新庁舎建設事業の延期・見直しに伴う諸課題に対応する経費で、主なものは、購入した建設用地の伐根や進入口仮設ゲート設置を目的とした新庁舎建設用地維持管理業務委託165万円、既存庁舎建設計画の整理・整合、既存施設利用の活用や防災・都市計画等の整合性についての概要整理を行う新庁舎機能再検討調査業務委託110万円です。

*防災安全課

◎防災対策総務事務

7815万3千円

主なものは、職員6名分の人件費の他、食料・水・液体ミルク等の災害用備蓄品の購入費794万4千円、新型コロナウイルス感染症対策「下田モデル」事業ポスター・チラシの印刷製本費430万円です。

◎第2分団第4部詰所建設事業

8317万8千円

旧中公民館跡地の一部に第2分団第4部の詰所を新築す



第2分団第4部詰所建設予定地

るものです。

工事の概要は、鉄骨造2階建、延べ面積140㎡（1F・70㎡、2F・70㎡）で、主なものは、工事監理業務委託243万円、工事請負費8000万円です。

*福祉事務所

◎生活保護費支給事業

6億4940万円

生活保護に係る費用で、その内訳は、生活扶助費等（生活扶助・住宅扶助・教育扶助・生業扶助・葬祭扶助等）2億5300万円、医療費扶助3億7000万円、介護扶助2640万円です。

*学校教育課

◎放課後児童対策事業

3106万8千円

放課後児童クラブの運営に係る費用で、下田小学校、稲生沢小学校、朝日公民館、浜崎小学校に加え、令和3年4月から稲生沢小学校での放課後児童クラブが新設されています。稲生沢小学校放課後児童クラブ新設の経費として467万6千円が計上されています。

◎中学校再編整備事業

10億3864万6千円

令和4年度の新中学校開設に係る費用で、令和2年度から令和3年度までの2か年の事業として整備が進められています。

主なものは、工事監理業務委託1439万円、仮設校舎整備工事2535万7千円、中学校整備工事9億7281万8千円と令和4年度から運行予定のスクールバス2台の購入費1640万円です。



下田中学校整備工事（新屋内運動場）

*生涯学習課

◎社会体育活動推進事業

1167万2千円

社会体育活動の推進に係る

費用で、主なものは、スポーツ及びアウトドアスポーツの振興を図るため、2名の地域おこし協力隊員を委嘱し、下田市振興公社で活動していたものです。その経費は協力隊員報償費450万円、協力隊員支援業務委託333万4千円です。

産業厚生委員会

委員長 進士為雄
副委員長 江田邦明
委員 中村 敦 佐々木清和
小泉孝敬 橋本智洋

条例関係等

■議第20号 下田市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について

介護保険事業は平成12年から始まり、3年を1期とした計画を策定しながら21年が経過しています。第8期の介護保険事業計画に基づき、令和3年度から令和5年度の保険料を定め運営を行うこととなります。

その保険料は、対象サービスの量等を見込み、それに基づき算定した保険給付に要する費用の予想額、被保険者の

所得の分布状況の見通し並びに国庫負担等の額の見込みを考慮して、3年間の保険料を算定しています。

介護保険料を算定するための所得段階は9段階あり、基準額となる第5段階は現在の月額5400円を5500円に1000円(約1.85%)の増額となるものです。

令和3年度下田市一般会計予算

*産業振興課

◎企業誘致推進事業

1464万1千円

この事業の主なものは、ワーケーション事業で7月から来訪者を受け入れるため、旧樋村邸外構等整備工事400万円、ワーケーションユウザールと市内企業等との交流を図り地域課題の顕在化と解決を目的とした事業創出マッチングイベント実施業務委託200万円、ワーケーション情報発信業務委託250万円、民間施設におけるオフィス環境整備を支援するワーケーション環境整備補助金300万円等です。



ワーケーション拠点施設【旧樋村邸】

◎有害鳥獣対策事業

1931万3千円

この事業の主なものは、有害鳥獣(猪・鹿・猿)720頭(昨年当初600頭)の駆除による買上金410万円、猟友会への委託費70万4千円、電気柵等購入に対する補助金315万円及び緊急捕獲活動に対する補助金596万8千円です。

◎漁港管理事業

2567万3千円

この事業の主なものは、職員人件費の他、白浜漁港板見地区への門扉設置工事300万円及び水門・陸閘等の管理業務委託です。

◎漁港海岸保全整備事業

618万7千円

この事業の主なものは、田牛地区の津波対策としての堤防嵩上げ等の整備に向け、基本計画を策定するための業務委託480万円です。(完成は令和7年度を予定しています。)

*市民保健課

市民保健課においては、市民相談事業、戸籍住民台帳、市民健康・医療に関する多くの事業がありますが、特に本年度新規事業について特筆する事業は次のとおりです。

◎新型コロナウイルスワクチン接種事業

1億2500万円

この事業の内容は、本年度中に16歳以上の希望者全員に接種を実施することとしています。ワクチン管理が困難なため、当面は集団接種とし、会場は下田市民スポーツセンターで予約を順次行っています。また、伊豆急下田駅から送迎のバスが運行しています。

◎伊豆斎場組合負担事務

1933万2千円

現在、令和2年度から令和3年度に大改修工事が施工されており、令和4年2月に完成し、本格始動の予定となっています。

*観光交流課

今後、事業負担額は令和6年度から20年間で8100万円(総事業費4億円)となっています。

観光交流課の予算の主なものは、各種団体への補助金、負担金及び観光施設管理費やイベント開催のための委託費等例年並みですが、本年度においては、特に新型コロナウイルス対策とオリンピック・パラリンピック開催に伴う関連予算が予定されています。

◎観光まちづくり推進事業

7851万9千円

本年度については、新型コロナウイルスに伴う観光の落ち込みへの対応として、地域クーポンを組み合わせた旅行商品や周知を行うOTA事業を実施し、観光・宿泊事業の経済活性化を図るため、下田市観光協会補助金(OTA等コロナ対策分)1500万円を補助するものです。

なお、他にコロナ対策としてあじさい祭開催期間中に屋外空間等を装飾することにより、旧町内への人の流れを創出し、飲食店等市内経済活性化を図るために、同協会に補助金1200万円が予定されていますが、その分については、現在困窮している市民に対して効果的・効率的な施策を実施すべきとの判断から修正削除されました。

◎世界一の海づくり事業

5710万1千円

本年度特質すべき内容は、オリンピック・パラリンピック開催にあたり、米国サーフィンチーム選手の受け入れ事業及び文化交流事業を行うため、同ホストタウン推進協議会への補助金489万8千円です。

また新型コロナウイルス感染症対策として、夏期海岸対策協議会補助金（感染症対策分）1810万円を増額するものです。

*建設課

◎都市計画総務事務

6066万1千円

新規事業として居住機能や



本郷橋

医療・福祉・商業等の都市機能の誘導により持続可能な都市、社会の実現を目的とする立地適正化計画策定業務委託が、令和3年度から令和4年度にかけて行われる予定です。事業予定額は1180万円の範囲内で行われます。令和3年度は600万円の予算となっています。

◎都市計画マスタープラン推進事業

1402万3千円

この事業の主なものとは市街地の交通整流化と歩行者の空間確保を目的とした交通規制社会実験を令和4年度に実施するための旧下田町地区交通規制社会実験調査業務250

万円、昨年度に引き続き旧下田町地区内道路路景舗装工事を1100万円にて、三丁目地内の市道を約80m予定しています。

◎耐震改修支援事業

1479万5千円

この事業の主なものとは、個人住宅耐震診断業務委託94万4千円、ブロック塀等耐震改修促進事業補助金93万4千円、木造住宅耐震改修事業費補助金680万円です。

◎道路維持費等社会資本整備

について

この事業の主なものとは、地域要望対応のために市道維持補修工事1150万円、交通安全施設設置工事220万円、河川維持補修工事110万5千円、排水路維持補修工事80万円です。

また、令和3年度から令和4年度にかけて本郷橋大規模修繕工事を事業予定額1億20万円の範囲内で行われます。令和3年度分は4010万円の予算となっています。

*環境対策課

◎焼却場管理事務

2億1518万7千円

本年度の管理事務費は、じん芥処理場長期包括委託（令和元年度から令和7年度・8億8000万円）され、本年度から、処理場運転に必要な人件費（総務費）や燃料費、光熱費、修繕費等じん芥処理全て（焼却灰等処理以外）の委託費が計上されたことにより、約3千万円の経費削減が見込まれます。

◎ごみ処理施設整備事業

699万5千円

この事業は、新たな処理施設整備に向けた経費で、主なものとは循環型社会形成推進地域計画策定業務440万円、ごみ処理基本構想再策定支援業務252万円です。

なお、新処理場については1市3町（下田市、南伊豆、松崎町、西伊豆町）の広域で進めることを予定しています。

◎環境基本計画策定事業

282万円

この事業は、昨年に引き続き現行の環境計画が令和3年度に満了となるため、環境基本条例に基づき、新たに10年間の計画を策定するもので、令和2年度から令和3年度にかけて行われる予定です。事

業予定額は935万円の範囲内で行われます。令和3年度分は委託費280万円計上するものです。

上下水道課 水道事業会計

水道事業費収益的収入は6億7621万9千円で、前年度比1309万4千円の減で年間総有収水量325万6千m³、前年度比6万9千m³の減です。

◎水道事業費用

6億3006万5千円

主なものとは、取水場、浄水場、導水管の維持管理に係る費用で前年度比2733万8千円増加しています。

◎資本的支出

7億3578万1千円

主なものとは、建設改良費5億6897万6千円で、その内訳は、敷根配水池耐震補強実施設計業務委託1300万円、新武山配水池築造工事2億2000万円、吉佐美・折戸地区配水管改良工事等及び第6次拡張事業5635万円、須原地区配水管拡張、上大沢第3ポンプ場及び北湯ヶ野増圧ポンプ設置工事です。

また、企業債償還金は、1億6553万2千円です。

下水道事業会計

下水道事業の収益的収入は8億7367万6千円、前年度比3798万1千円の減で、収益の主なもの、一般会計負担金、長期前渡金戻入の営業外収益、3200戸の年間下水道使用料で有収水量99万6千mを見込んでいます。

◎下水道事業費用

7億763万3千円
主なもの、管渠費800万1千円、処理場費の維持管理費1億6728万6千円、減価償却費4億3371万5千円です。

◎資本的支出

6億9432万4千円
主なもの、管渠築造工事等3600万円で、中地区、須崎地区の管渠築造工事、下田処理区マンホール蓋取替工事です。また1億4200万円以下田浄化センター機械設備更新工事・電気設備更新工事を行うものです。
企業債償還金4億6666万円も含まれています。

5月臨時会総括

下田市議会5月臨時会は令和3年5月12日から5月13日までの2日間の会期として開催され、専決処分3件、人事議案1件、条例1件、補正予算1件の審議が行われました。

令和2年度一般会計補正予算は、歳入歳出それぞれ1000万円を追加し、歳入歳出の総額をそれぞれ111億9887万5千円として原案のとおり可決されました。

この補正予算は、新型コロナウイルス感染症による影響が長期化する中で、市内経済の循環、消費喚起を目的として、低所得者（非課税世帯）に対し、プレミアム付商品券を配布することにより生活支援を行うものです。

専決処分3件及び人事議案1件は即決で承認・同意され、条例1件、補正予算1件は所管の常任委員会に付託され、いずれも本会議で原案のとおり可決しました。



3月定例会一般質問

江田 邦明（松陰会）

（1）ボランティア清掃ごみとアダプト・プログラムの導入について

豆町、松崎町、西伊豆町）について

（2）スポーツ振興と地域活性、施設の維持管理について

渡邊 昭志（清新会）

中村 敦（令和会）

（1）第3期「TOUKAI-0」と耐震シェルターの設置について

矢田部 邦夫（再興の会）

（1）「下田モデル」について

（2）新庁舎建設について

沢登 英信（日本共産党）

（1）伊豆急下田駅周辺と現庁舎移転後の再開発について

（1）下田市教育大綱（案）と教育の課題について

橋本 智洋（清新会）

（2）南伊豆地域広域ごみ処理事業（下田市、南伊

（2）新庁舎建設後の再開発について

（2）中学統合後の特色ある教育について

表彰

東海市議会議長会表彰・全国市議会議長会表彰

4月に東海市議会議長会、また5月に全国市議会議長会で、小泉孝敬議員が、市議会議員10年以上の一般表彰を受賞しました。

《賛否の分かれた議案》

（○：賛成 ×：反対 -：欠席）

番 号	2月臨時会・3月定例会議案件名	江田邦明	中村敦	鈴木孝	渡邊昭志	矢田部邦夫	佐々木清和	滝内久生	小泉孝敬	進士濱美	橋本智洋	進士為雄	大川敏雄	沢登英信	審議結果
報第1号	専決処分の承認を求めることについて（令和2年度下田市一般会計補正予算（第13号））	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	承認
議第15号	下田市職員の特殊勤務手当に関する条例の制定について	○	○	○	×	×	×	○	○	○	○	○	○	×	可決
	下田市職員の特殊勤務手当に関する条例の制定について（修正案）	×	×	×	○	○	○	×	○	×	×	×	×	○	否決
議第20号	下田市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	×	可決
議第22号	令和3年度下田市一般会計予算（修正部分を除く原案）	○	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	×	可決
	令和3年度下田市一般会計予算修正：魅力的空間創設事業分割除	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	令和3年度下田市一般会計予算修正：現庁舎安全性調査業務委託等削除	×	×	×	×	○	○	×	○	×	×	×	×	×	否決

※議長（小泉孝敬）は、可否同数の裁決以外は、採決に加わりません。

令和3年2月臨時会 審議結果

番 号	令 和 3 年 2 月 臨 時 会 議 案 件 名	審議結果
議第1号	下田市課設置条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第2号	令和2年度下田市一般会計補正予算（第12号）	原案可決

令和3年3月定例会 審議結果

番 号	令 和 3 年 3 月 定 例 会 審 議 結 果	審議結果
報第1号	専決処分の承認を求めることについて（令和2年度下田市一般会計補正予算（第13号））	承 認
議第3号	令和元年度（債務負担）デジタル同報系防災行政無線整備工事請負契約の締結についての一部変更について	原案可決
議第4号	令和2年度（債務負担）下田中学校整備工事（建築）請負契約の締結についての一部変更について	原案可決
議第5号	令和2年度（債務負担）下田中学校整備工事（機械設備）請負契約の締結についての一部変更について	原案可決
議第6号	令和2年度（債務負担）下田中学校整備工事（電気設備）請負契約の締結についての一部変更について	原案可決
議第7号	令和2年度下田市一般会計補正予算（第14号）	原案可決
議第8号	令和2年度下田市介護保険特別会計補正予算（第4号）	原案可決
議第9号	令和2年度下田市後期高齢者医療特別会計補正予算（第4号）	原案可決
議第10号	令和2年度下田市集落排水事業特別会計補正予算（第3号）	原案可決
議第11号	令和2年度下田市水道事業会計補正予算（第4号）	原案可決
議第12号	令和2年度下田市下水道事業会計補正予算（第3号）	原案可決
議第13号	市有財産（建物）の譲与について	原案可決
議第14号	下田市職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第15号	下田市職員の特殊勤務手当に関する条例の制定について	原案可決
議第16号	下田市附属機関設置条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第17号	下田市特別職の職員で非常勤の者の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第18号	新型インフルエンザ等対策特別措置法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定について	原案可決
議第19号	下田市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第20号	下田市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第21号	下田市指定居宅介護支援等に係る事業者の指定に関する基準並びに事業の人員及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第22号	令和3年度下田市一般会計予算	修正可決
議第23号	令和3年度下田市稲梓財産区特別会計予算	原案可決
議第24号	令和3年度下田市下田駅前広場整備事業特別会計予算	原案可決
議第25号	令和3年度下田市公共用地取得特別会計予算	原案可決
議第26号	令和3年度下田市国民健康保険事業特別会計予算	原案可決
議第27号	令和3年度下田市介護保険特別会計予算	原案可決
議第28号	令和3年度下田市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決
議第29号	令和3年度下田市集落排水事業特別会計予算	原案可決
議第30号	令和3年度下田市水道事業会計予算	原案可決
議第31号	令和3年度下田市下水道事業会計予算	原案可決
発議第1号	下田市議会会議規則の一部を改正する規則の制定について	原案可決
発議第2号	下田市議会委員会条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
	議会運営委員会の閉会中の継続調査について	

令和3年5月臨時会 審議結果

番 号	5 月 臨 時 会 議 案 件 名	審議結果
報第2号	専決処分の承認を求めることについて（令和2年度下田市一般会計補正予算（第15号））	承 認
報第3号	専決処分の承認を求めることについて（下田市税賦課徴収条例等の一部を改正する条例の制定について）	承 認
報第4号	専決処分の承認を求めることについて（令和3年度下田市一般会計補正予算（第1号））	承 認
議第32号	下田市固定資産評価員の選任について	同 意
議第33号	下田市税賦課徴収条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決
議第34号	令和3年度下田市一般会計補正予算（第2号）	原案可決

編集後記

コロナ禍を契機に、日常生活の様々な場面でICT化が加速しております。本議会だよりは、間もなく発刊から20年が経過し、私たち議会も、市民の皆様が理解しやすく、必要とする情報を多様な媒体を通じて発信していかなければならないと考えます。

先の5月臨時会で議会機構改編が行われ、編集委員会も新たな委員構成となりました。今回の議会だよりは、旧委員と新委員の共同で編集し発行したものとなります。

入稿からの全てを新委員で編集する次回発行にむけ、読みやすい紙面づくりを研究するとともに、議会全体の広報体制を構築し、アナログとデジタルを併用した情報発信に取り組んでまいります。

編集委員会

◇委員長 江田 邦明
◇副委員長 中村 敦
◇委員 鈴木 孝
◇委員 佐々木 清和